

21世紀に求められるピアノレッスン創造 (1)

ピアノ指導者7,000人の ネットワーク活用法 5

インタビュー*1 ネットワークとは「待っているだけでなく、自分から求めて作るもの」戸沢睦子先生
インタビュー*2 ネットワークを活性化するために「小さなチャンスが大きな絆へ」金子勝子先生
インタビュー*3 ネットワーク活用術「指導力向上とともに地元ネットの強化へ」登坂睦子先生
ピティナネットワーク*国内編 広げよう！地域のネットワークから ピティナ全支部・連絡所
支部活動を通してネットワークを拡大 川越支部・名古屋支部
ピティナネットワーク*海外編 世界に広がる海外在住会員ネットワーク
★コラム：バスターンツアー・ピティナ海外演奏ツアー

ピティナ・ピアノフェスティバルvol.56

ショパン PART 1 24

エチュード楽曲分析 土田英介
エチュード… 指の練習か、それとも芸術的表現か？
ポロネーズの形式の発展とその解釈 レギナ・スメンジャンカ

OUR MUSIC

CONTENTS
215

入賞までの軌跡を語る③	36
関春絵さん	
ピティナっこリポート13	38
松岡淳	
支部をたずねて 大津連絡所	40
わたしのインターネット活用法③	42
音楽大学トップインタビュー⑨	44
尚美学園理事長：赤松憲樹先生	
コンチェルトの魅力③	46
ピティナ会友インタビュー②	50
ポール・ボライ	
国際舞台で活躍するピティナ指導者たち②③	52
多美智子先生・杉谷昭子先生	
海外耳より情報 アメリカ編④	56
ポピュラー活用講座⑥ 佐土原知子	64
作曲家研究⑭ 久元祐子	68
巻頭随筆 松崎伶子先生	3
和音調子のひとりごと	96

PTNA CONCERT TICKET	62
CONCERT REPORT	65
上田弘子	
北から南から	85
PTNA NEWS	86
日本フィルハーモニー交響楽団 サンデーコンサート 関春絵 表2	
ピティナ・ピアノステップ	73
ピティナ・ピアノ指導セミナー 74	
十代の演奏家シリーズvol11	
根津恵理子	73
ピティナ・ピアノコンペティション	74
ジョイントリサイタル	75
入賞者記念コンサート	76
英国王立検定	77

シリーズ 特集

21世紀に求められる
ピアノレッスン創造【2】

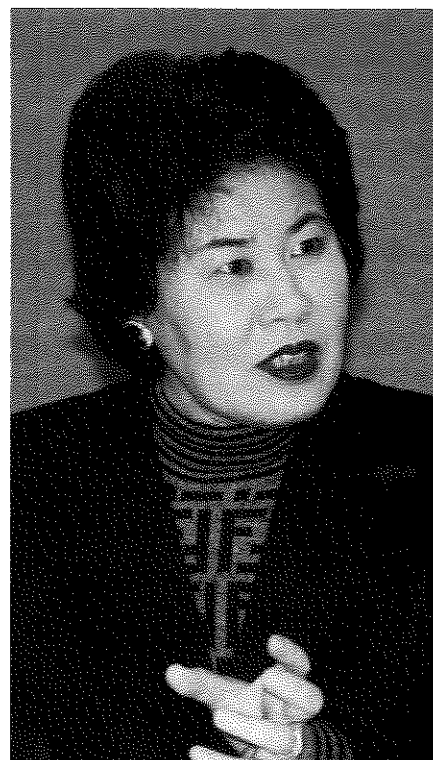
ピアノ指導者7,000人の ネットワーク活用法

30名弱の研究会から始まったピティナもいまや7000人の会員組織へと拡大しました。

その中で、会員個々の交流、組織との連携を強めることによって、より広い視野からピアノ音楽教育を考えられるのではないかと。ネットワークを広げることでどんな効果があるのか、どう活用すればよいのか、そもそもどのように得られるものなのか。

21世紀を目前に、シリーズ特集として前号から企画している「21世紀に求められるピアノレッスン創造」。2回目の今回は、そういう想いで「ピアノ指導者のネットワーク」という観点から特集を組んでみました。

一人一人の力は微力でも、もう一歩自分のネットワークを広げることで、全ての可能性は広がるはずです。



●ピティナのネットワークとは

待っているではなく自分から求めて作るもの

インタビュー****

戸沢 睦子先生

tozawa mutsuko ◎ステップ実行委員長 実年音楽教室実行委員 運営委員会協力委員

ピティナ・ピアノコンペティション、ピティナ・ピアノステップ、実年教室としての支部活動。それらの行動の中で戸沢先生はピティナのネットワークというものをどのように意識してこられたのでしょうか。

全国組織ピティナに出会うまで

-----ピティナに入会されるまでの先生のご活動を教えてください。

私が大学を卒業した頃は、公立学校の音楽専科の先生がたりなかったのです。迷うことなく、中学校で音楽教育に携わる道を選びました。結婚を機に東京へ。復職の意志はあったものの、子育てが始まり、こわれるままに近所の子供たちの面倒を見ることになったのです。

子育ても一区切りついた頃、知人の誘いでピアノの会員になりました。四十才をすぎ、自分の守備範囲の中で、自分に何が出来るのか悩んでいた時期でもありました。ピアノに関してはほとんど白紙状態での入会でしたが、ほどなく大宮支部の支部長をお引き受けするはめになり、とりあえず全国支部連絡会に出席してみました。ピアノの先生

方の組織にこんな立派な組織があったのかと、それはもう、驚きでした。これがピティナへの私の第一歩でした。

ピアノ指導者との交流を求めて

-----支部の活動はどのように発展していったのですか？

「やるからにはきちんとやりたい」という気持ちで臨み、2、3人から再出発したばかりでしたが、「先生方は何を望んでいるのか」というピアノ指導者の視点にたって考えるところからはじまりました。

講座や研究会からはじめ、本部が埼玉県と協力して行っていた流れの一環で実年音楽教室も始めました。そのうちに気が付いたのです。「先生は生徒と関係があることだったら参加するのだな」と。またそれまでコンペ・検定を中心にやってきまし

たが、小学校高学年になると塾や学校が忙しくなり、生徒がやめてしまうという現実に直面してしまっただけです。「指導者の交流」「学習の継続」そういう指導者の要望をくみ取り、ピティナが始めたのが「ピティナ・ピアノステップ」でした。

発信して初めてできるネットワーク

-----ステップの特徴として、6K（継続、向上、個性、公開、客観性、交流）があげられますが、その中の「交流」はどのように生まれますか？

私達の埼玉中央支部では、会場で参加者の記念撮影を行うのですが、その写真にお手紙を添えて、生徒さんを出された先生方にお送りしています。ご丁寧な返信をくださる先生方も多くいらっしゃる、見知らぬ先生方と交流がもてるんですよ。

また、支部の先生方にとっても、コンペやステップは大きな

交流の場になっています。事前準備の段落から各行事のチーフを、無理のないところで、当番制でやっています。仕事を担うことがお互いの気配りにもつながりますし、支部への愛着、仲間意識が育つことになります。

-----自分から発信しなければネットワークは生まれないということですね。

そうです。ピアノ指導者は孤独だと思いますが、そうはいつでも誰でも「居心地の良い場所」というものを求めているのではないのでしょうか。

地元の先生方へよくお話するのですが、ピティナは社団法人であり、私達は会費を払っていますよね。そして、本部からこの会報をはじめ、いろいろな情報をいただいています。しかしピティナという会員組織は、会員がいて初めて成り立つものではないのでしょうか。だからネットワークというのは、待っているだけでな

く、自分から求めて作っていかないといけないものだと思うのです。そしてそれを求めるためにピティナというネットワークを利用するという逆発想はいいのでしょうか。

-----中にはそれでも後込みしてしまうという先生の話も聞きますが。

外に出ていくことで、自分自身を省みることができます。実年教室でもピティナの先生方「キーボード・オーケストラ」の仲間との活動など、暖かい心の通い合いがあります。「一歩を踏み出しませんか、一緒にネットワーク作りをしませんか」と声をかけます。人の意識はいつか変わります。きっと一歩を踏み出された方は、その時ネットワークに参加することがいかに楽しいものか、わかっていただけるのではないのでしょうか。

-----例えばステップもありますよね。

ステップも本部から提供された形の中から、「自分のステップ」を見出して欲しいと思うんです。どんなステップだと自分は参加できるかなと考えて欲しいですね。パソコンを例にしますと、私も始めた頃はチンプンカンプン。でも全てを知ろうとしないで、まず自分の分かる範囲をクリアにする。ステップとパソコンを一緒にするのも変ですが、何事も「求めよ！さらば与えられん」。そうすると次の一歩が見えてくるものです。

右：上から98年度埼玉支部ステップにて中：下写真は、99年12月に行われた実年教室とキーボード・オーケストラ「楽」との合同発表会の様子。2つの教室の生徒さんと、先生方、総勢91名が参加した。





ネットワークを活性化するために

「小さなチャンスが大きな絆へ」

インタビュー****

金子 勝子先生

kaneko katsuko ◎当協会
監事、運営委員 検定・指
導者育成委員長 コンク
ール事業担当者連絡会委員
課題曲選定委員（Bグル
ープ） 組織委員

設立時からピティナに関わってこられて約■年。指導者育成委員会委員長をつとめるなど、現在最もネットワーク力が強いということで注目を集めていらっしゃいます。今までのご経験からネットワークをどう活性化させていくか、金子先生にお話をいただきました。

身近にある小さなチャンスを逃さない

-----ご自分の軌跡を振り返られて、どのようなことが現在のネットワーク力に結びついていると思われませんか。

知り合いの先生方3人で演奏会を開こうと、プロデュースをお願いしたのが私とピティナとの始まりでした。その後約30年がたつわけですが、実は講座の講師、課題曲CD演奏など、ピティナのどんなお仕事でも、先約がない限りお断りしたことはないのです。今年もまもなくコンペの課題曲公開レッスンが各地で開催されると思いますが、その公開レッスンでも予定していた先生が急にキャンセルされたとかで、3日前にお願いされたということもありましたね。しかし『頼まれた事はすべて引き受ける、その中で自分が何ができるか自分なりに考え、経験を生か

す』これが、私のモットーなのです。巣立っていく生徒にも、はじめの一步をまずふみだすようにアドバイスしています。目先のことをとにかく一生懸命にやっていたら、きっと道は開けてくるのではないのでしょうか。

きっかけを次につなげるために

-----指導者育成委員会では、よくレクリエーションを企画されているとお聞きました。

例えばセミナー終了後、連帯感や充実感をみんなでお祝いするために、近くのレストランでお食事会ということにはしばしばですが、時にはステキな船に乗って雰囲気を楽しんだり、温泉に行ってくつろいだりというように。普段とはひと味違った状況下で、コミュニケーションをはかることによって、団結力が高まったり、先生方のすばらしい面を新たに知る

ことができますので、より円滑に物事を運ぶための手だてとなることもあります。

-----普段お会いする機会のあまりない方とはどのように？

私が大切にしているものの一つに年賀状があります。日頃なかなかお会いできない方でも、この年賀状によって、お互いの健康を確認できるとともに、なつかしく思い出させることができます。毎年、お出しするのは数百枚。手書きの部分必ずひとこと添えるようにしているのですが、それを一度に書くのは大変です。11月から毎日4、5枚ずつ書き、元旦には必ず届くように心がけています。

距離と時間のバランスをうまくとる

-----中には性格の苦手な人もいますのでは？

もちろん、自分と合わないのではと思う人も中にはいます。

しかし私はその人のいいところのみをみるように心がけています。ぶつかり合うこともあるでしょう。そういう場合は「目には目を」という復讐の考えは持たず、距離と時間をおきます。そうすると、2、3年くらいたったら自然に手紙のやりとりが始まるものです。

新しいものを常に吸収したいという姿勢

-----物事へのアプローチ方法の秘訣は？

主人を失ってしまってからこ



金子先生が考える！！ グループ活動のリーダーへの6つのアドバイス

1) 主体的な参加を促す

皆で意見や提案を出し合い、そしてその意見を柔軟に取り入れられるような環境が、主体的な参加を促します。

2) 得るものがあることを感じてもらう

ボランティア活動だとしても、与えるだけでなく自分自身も得ることができるという環境作りを心がけます。

3) チャンスは平等に

参加者全員に役割やチャンスが、公平に行き渡るよう、心がけます。

4) リラックスムードを作る

活発な意見交換ができることは必須。ときには場を変えてみると、お互いの理解・個性を知ることができます。

5) トラブルの対処

トラブルはつきもの。すばやい状況判断と、その問題にたいして解決していく姿勢が第一です。

6) サービス精神をもつ

根本的には皆が、「入ってよかった」と思えるようにしたいという気持ちでリーダーシップをとります。

れではいけないと、それまで家に閉じこもりぎみだったのが、徐々に外に目が向きだしたのです。それからあらゆる講座に参加するなど、夢中で勉強しました。今でもその延長線上です。車の免許をとったのも50才をすぎた後、その後英会話にチャレンジしてみたり、最近では、メールを始めました。メールが届いていると、真夜中になっても、つい返信してしまうんです。「第1歩」というのは何歳からでも可能なんですよ。

-----先生のそのパワーはいったいどこからでてるのでしょうか。

新しいものに目が向くのですが、米屋とクリーニングは変えず何十年



も同じ所にお世話になっているというように、長い関係も大事にするという姿勢を心がけているのです。結局『人』そのものが好きなんじゃないかな。それが自分のエネルギーに結びつき、振り返るとネットワークができていたということではないでしょうか。

左) 教室では合宿を行い、音楽的なレベルアップをはかるとともに、レクリエーションを楽しみます。



ネットワーク活用術

指導力向上とともに元ネットの強化へ

インタビュー****

登坂 睦子先生

tosaka mutsuko ◎当協会正会員。現在、水海道市が運営する文化協会「音楽の花束」で中心となって活

登坂先生は自分自身の向上のために、ピティナの会員になり自己研鑽につとめてきました。最近では、地元の先生や生徒さんの音楽レベル向上に貢献していっぱい

藤原亜津子先生との出会いが外の世界へと導いた

-----現在先生をとりまいているネットワーク、そのきっかけは何だったのですか？

高校生の時から教え始めたのですが、大学を卒業し、本格的に指導するようになると、ピアノを教えるのに嫌気がさしてきました。教材も自分が習ってきたものしか知りませんでしたし、指導法の知識も貧しかった。そのせいか自分の指導力に限界を感じていました。

ある時、藤原先生が開かれていたコンチェルトの発表会があることを知り、聴きに行きました。とにかく、感動！そして感動とともにカルチャーショックを受けたのです。「子どもの可能性というのは、指導者の力でここまで引き上げられるんだ」と。その後、我が子が5才になったのを機に藤原先生にレッスンを

お願いすることになり、子どもを通して多くのことを学びました。子どもが都合で休んでも私は出席するというように…。ピアノ教師としての熱の入れ様でした。それが今までと違う世界へ目を向けるきっかけとなりました。

ピアノ指導者とのネットワークを通し、研鑽を積む

-----具体的にどのような変化があったのでしょうか？

音楽科卒業の私は、ピアニストのように弾けないことにコンプレックスを感じ、勉強会に参加したくても参加する勇気がありませんでした。しかし、藤原先生に出会ったお陰で、先生の講座を通してバスティンの教材を知り、そしてピティナへ入会。月一回十名程度の先生が集まり、バスティン教材や指導法の研究、

親との関わり方などについて語り合う会に参加してお互いに学び合っています。

-----勉強会というのは、ともすれば経験のある先生が与えるばかりになってしまうのではと思われま。勉強会を継続し、知識が豊富になると、その会に参加するメリットはどのように変化してきましたか？

経験豊かな先生からは多くのことを教えられますし、お若い先生からは最近のフレッシュな感覚から時代の変化を肌で感じさせていただいています。どちらの先生からも刺激を受け、自分自身の向上につながっていると感じます。

地域の協力→地域の音楽向上へ

-----登坂先生は全国に先駆けてステップ・ステーション(※)を設立されましたね。

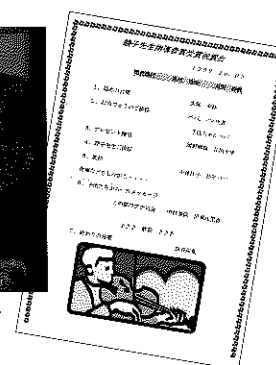
それまでコンペのみ生徒を参加させていたのですが、ステップの意義を知り私も共感いたし

ましたので、このステップには教室のほぼ全員が(他の教室の生徒さんも)参加しています。教室では発表会も開催しているのですが、更に生徒に自信をつけてあげたい、ステージ経験のチャンスを与えてあげたいという願いから参加させています。生徒や指導者の先生方は講評を楽しみにし、またそれを励みにしています。私はこのステップが水海道の地に定着するようになることを願っています。

-----水海道ステップによって



99年コンペ指導者賞を受賞したとき、生徒とその家族が皆で祝賀会を開いてくれました。右はその時の進行プログラム。



地域の音楽レベルが向上すればいいですね。その他、地域のためにどのようなことをなさってきましたか？

ピアニストの横山幸雄さんをお招きして我が家でコンサートを開き、生徒に生の音楽を聴かせたこともあります。

また水海道市の音大出身の仲間と『音楽の花束』という訪問コンサート(年約十回の無料演奏会)のグループを結成し、地域に根ざした活動も行っています。様々な音楽とのかかわりが地域の音楽文化の発展につながればと考えています。

コンペ指導者賞へ

-----これまでの活動が華開いたのでしょうか。99年度は見事指導者賞を受賞されました。地域で指導されている後輩の先生方をごらんになってどのように思われますか？

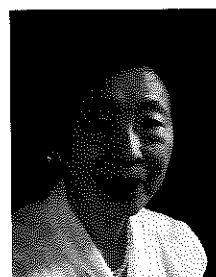
昔の自分のように消極的に感

じます。ですから「生徒を出してみない？新しいことに挑戦しましょうよ」と皆さんに声をかけています。それがきっと自分自身の向上に、地域の向上につながると思っています。

※ステップ・ステーション：ステップに生徒を参加させたいが、近くに会場がないという先生は、ステーションを開き、ご自宅や最寄りの会場で、ステップを開催することが可能です。



上：登坂先生が考案したマーク。横向きのト音記号でわとり。
ではわとりがもつものは？「とさか！」
左：左から99年12月に行われた水海道ステップ。及び横山幸雄さんを迎えてのホームコンサートの様子。



藤澤 克江先生

組織委員長

ピティナ支部・連絡所は、全国120にもものぼります。会員のみならず、この支部・連絡所という身近なネットワークを利用し、音楽に関するご自分の幅を広げていただければと思います。

IV ピティナネットワーク*国内編

広げよう！ 地域のネットワークから

写真は、2000年1月24日（月）までに本部事務局に届いたものです。

道東支部

当支部は今年で15年目に入りますが、初めは70名位から出発したコンペ参加者は150名にまで増えました。



長野 正美
0154-23-5637

青森支部

先生方が協力的に積極的に参加して下さるよう、努力を積み重ね、指導者、生徒が共に成長できる支部になることを願っています。



浜田 ゆか
0172-36-6729

仙台中央支部

所属会員には、支部だより、特別レッスンへの優待等、お得な情報を伝達しています。皆様のご意見をPTNAに反映させてみませんか。



林 典男
022-713-1421

郡山連絡所

郡山連絡所では、ピアノの指導者、生徒、ユーザーの皆様にご協力いただき、皆様にご協力をお願いいたします。



水本 秀一
024-924-1165

北海道支部

当支部の自慢は結束力と行動力。会員のための様々な企画・コンサートも積極的に開催。Eメール等、会員同士の交流も強力に支援。



石川 白
011-615-0710

根室・中標津連絡所

所属会員21名。毎年5月にコンペティションを開催し、12月に入賞者コンサートを開催しております。（下地 薫）



黒越 かおり
01532-4-0540

弘前支部

和気あいあいの仲間で、コンペ、記念演奏会、ステップ、勉強会などとも意欲的に活動。今後は、中味の充実を目指したい。



田中 みゆき
0172-87-6088

秋田支部

秋田支部を私が引き受けることになりました。未経験なので不安ですが、私なりに全力で務めさせていただきます。



若松 マキ
018-884-1023

喜多方支部

月1回例会を行い情報交換を実施。年1度の地区予選は最大のイベント。地域も若松・坂下・田島へと広がりが出てきました。



大石 照子
0241-24-3445

帯広連絡所

連絡所が発足してから2年。コンペもステップも、少しずつ拡大していくことと思います。どうぞ長い目でご支援下さい。



小島 民子
0155-35-7007

宮城支部

設立して早9年。運営面では多くの先生方にお手伝いを頂きながらここまでできました。今後も地域全体で盛り上げていきたいです。



星 宇博
022-227-6541

福島県浜通り支部

今年は幼稚園でのピアノステップの展開に取り組みます。福島からピティナの新しいモードを発信させてまいります。



高野 建夫
0244-22-3158

水戸支部

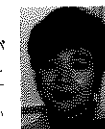
会員の皆様方の音楽情報発信基地としてお役に立てるよう、スタッフ一同努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



池田 寛
029-231-1258

電ヶ崎支部

ピティナのおかげで今日があります。これから「この指とまれ」を合言葉に、皆さんと一緒に盛り上げていきましょう！



藤原 亜津子
0297-62-7081

日立多賀連絡所

日立多賀連絡所では、地域の指導者の方々により親しまれご満足頂けるよう、社員一同努力して参ります。



平野 利行
0294-35-8808

栃木県支部

3月の支部総会で、ピアノステップの開催に向けて始動予定です。先生方との結束を更に深めて、拡大させてまいりたいと思います。



厚地 和之
028-625-6313

足利連絡所

発表会などを通じて、これからもより一層地域や各先生方、生徒さん達と結びついていきたいと思っております。



山田 紀子
0284-41-6168

高崎連絡所

99年12月に第一回ステップを開催。2000年も地域でピアノを学習する皆様の情報発信できる場所として精一杯活動していきます。



古屋 保男
027-325-1535

大宮西部支部

審査に携わって頂いた先生方と一献交す事の楽しさ、支部の皆様との輪など、私にとって大きな財産。その絆を大切にしていきたい。



伊藤 英三
048-687-8600

越谷連絡所

所属会員皆様の努力で連絡所に昇格。今年は飛躍の年と位置づけて年間行事を決め、定期的な勉強会もすることに致しました。



森下 勉
0489-64-8411

柏支部

これといった特色の無かった柏が今、大きく変化しています。柏支部がその中にうまれ無様、2001年に向け再生計画書。



柳沢 正純
0471-72-3625

つくば連絡所

今年も先生方のお力添えのもとで、確実に進めてまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。



浅川 憲
0298-22-1600

栃木支部

栃木支部は会員約15名で、毎月1回例会を実施。夏にはコンペ、冬にはステップを行い、それに伴い公開レッスンや講座を開催。



大貫 忠次
0282-23-2768

西那須野連絡所

三才になる小さな連絡所です。コンペ3回、ステップ1回と経験は浅いですが、会員は熱心です。



達実 マス子
0287-37-6273

埼玉県支部

埼玉県支部のコンペは、今年で15回目。沢山の賞品と多勢の参加者に、その成果に対する励ましの賞を、差し上げています。



吉岡 千賀子
048-822-5391

川越支部

先生方と顔を合わせる機会を増やし、地元の音楽層の（音楽への意識）底上げを皆で目指していこうと思っています。



丸子 あかね
0492-41-2472

熊谷連絡所

埼玉中央支部の分室から連絡所へ昇格して初めての年です。熊谷連絡所ならではの特色を示してまいりたいと思います。



安園 真由美
0485-24-6521

成田支部

自分の好きな音楽をと、数名の会員は専門外の弦楽器を練習中。ピティナ成田ストリングアンサンブル完成も遠くはないでしょう。



今仲 典雄
0476-27-1011

小山連絡所

21世紀を向え、音楽文化の発展に小山連絡所として地域の皆様へ情報の充実や提案に取り組んでいきたいと思っています。



岡田 聖治
0285-22-2493

群馬県支部

50名程の会員とコンペ及びコンサートを中心に活動しています。先生方よりコミュニケーションをはかり、頑張りたい。



萩原 章
027-234-1534

埼玉中央支部

2000年の節目に当たり、より一層の組織化を計り、原点を見詰め直し、高付加価値な仕事と運営を進めてまいります。



吉村 京夫
048-831-8511

草加・越谷南支部

昨年連絡所より支部に昇格。21世紀を見据えて、発展的ピアノ普及活動を推進致します。今後共ご理解、ご協力をお願い致します。



小池 道男
0489-85-5611

千葉支部

支部の未来は、会員の先生方の向上ですので、ぜひお手伝いさせていただきます。なごやかな千葉支部です。



大村 紀子
043-259-3874

八千代支部

17年目の本支部は2000年を祝し、1月23日に、「八千代地区ピティナコンサート」を開催。先生方の一層のご協力をお願いいたします。



吉田 操
0474-84-8410



東京支部

現在毎月第一木曜日にバスティン研究会、第二教材研究会を開催。実際のピアノ指導に役立てるための先生方の勉強会です。



森屋 雄介
03-3944-1581

小金井支部

指導者・学習者の皆様に、よりご満足頂ける支部として、精一杯のお手伝いをさせて頂きます。お気軽にご相談・ご利用下さいませ。



佐久間 彰
042-385-5585

青梅支部

自由で活発な意見交換の場である月1回の定例会は充実、色々な行事の運営も「あ・うん」の呼吸でスムーズにこなしております。



伊藤 由樹
042-323-1252

府中支部

コンペティション予選の開催が中心ですが、今後も参加者の皆様が満足する運営を心がけていきたいと思っております。



小池 菜乃子
042-383-5536

八王子支部

新しい世紀を迎えて、楽しいコンサートや練習会、研究会など企画したいと思っています。7/21(金)コンペ八王子地区予選開催。



藤田 育子
0426-62-8256

調布支部

コンペでは東京支部との共催ということで、おまかせする部分が多いのですが、少しでも皆様のお役に立てますよう願っております。



佐藤 春雄
0424-86-8134

立川連絡所

コンペ地区予選開催から早10年、通算で1000名以上の方が参加しています。今年も参加者の上達ぶりを楽しみに準備にあたりたい。



清水 義雄
042-523-1431

江戸川・市川連絡所

年1回のコンペですが、「参加してよかった」と言ってもらえるよう、スタッフ一同頑張ります。よろしくをお願いします。



矢作 聖司
03-3613-4111

湘南支部

神奈川県中央～西部地区の指導者の皆様によって支えられています。今年はコンペだけでなくステップ開催に意欲を燃やしています。



大谷 光司
0466-27-1234

横浜支部

コンペでは、参加者、ご父兄の熱心さを拝見いたし、日頃の成果が発揮できるよう、行き届いたお手伝いが出来ればと思います。



橋 穂子
045-434-1100

新横浜支部

5月14日(日)初ステップを予定。スタッフ一同期待と不安でいっぱいですが、会員の先生方の力をお借りし盛り上げていきたい。



宮崎 亮次
045-716-4560

新潟支部

昨年4月に発足。7月にコンペ、2000年1月にピアノを終了。これから所属会員と協力しながら発展することを願っております。



金田 裕子
025-243-4311

新百合ヶ丘連絡所

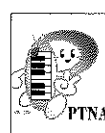
コンペの開催は今年で3回目。附属音楽教室の生徒さんも多く参加され、ますますの充実を図っていききたいと思っております。



的場 辰朗
044-953-1230

横浜北連絡所

昨年、初めてのコンペティションを開催したばかりです。今後ピティナとどう接していくか、検討中です。



鈴木 純子
045-933-6211

石川県支部

当支部を始めて15年目、川口先生を中心に会員一同頑張っております。3月11日石川県立教会館にて、受賞記念コンサートを開催。



野村 吉和
0762-43-8475

富山連絡所

2000年1月で1周年を迎えます。いろいろな方々に助けて頂きながら無事1年が過ぎました。今年はさらに意義のある会にしたい。



清水 綱代
076-422-5333

高岡支部

12月19日には予選優秀者70名によるコンサートを実施。今年は会員の皆様の資質向上の一助として、トークコンサート実施予定。



松本 徳次
0766-23-8012

長野東北信支部

支部は、美鈴楽器ライフ店内にございます。店内では常にお茶が用意され、楽譜も各種揃い、所属会員のオアシスとなっております。



池田 和久
026-226-7633

福井支部

3月12日ふくいハーモニーホールにて入賞者コンサートを開催。招待演奏者は大崎結真さんを予定。ショパン演奏をお楽しみに。



徳岡 美智子
0776-24-1773

甲府支部

山梨県の音楽文化向上を目指し、会員相互の親睦を図りながら、情報交換の場や指導力・意識向上の為の講座や研修等を企画運営中!



小池 一幸
0552-53-4711

松本支部

熱心な指導者の方々と遠方の参加者達のお陰と協力で成り立っています。何かお役に立てればと思っています。(古川 里香)



竹田 保文
0263-32-0921

諏訪支部

諏訪湖畔片倉館にある諏訪支部は今後もコンペ参加者との会合を楽しみに、先生方の交流にも力を入れて行きたいと思っております。



茅野 雅英
0266-58-5345

小諸連絡所

昨年我がエリアから待望のコンペ金賞受賞者誕生。この事実と2000年節目にあたり近隣の先生、全国の先生と積極的に交流したい。



小山 直利
0267-23-3111

浜松連絡所

担当になってから2年弱ですが、課題曲説明会等、先生方のお手伝いを精一杯させていただきたいと思っております。



今川 愛子
053-454-4419

名古屋支部

「文化事業部」をさらに充実させ、コンペに限らない支部活動のお手本となるような成功事例を積み重ねていきたいと思っております。



道法 薫一
052-751-6161

豊田連絡所

昨年7月より事務局が名曲堂より第一楽器豊田店に変わりました。心機一転今年は支部昇格を目指して活動いたします。



宇野 順二
0565-31-0403

近江八幡支部

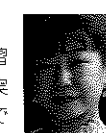
会員の皆様には毎月新刊楽譜や講座の案内もさせて頂いております。ピアノ特別レッスンも受講していただけます。



村井 秀行
0748-33-5198

京都支部

21世紀に向けて生涯学習としてのステップの充実を、又所属会員が、一人でも多く支部活動に参加して下さるよう努力します。



辻 美千子
075-231-4127

丸子町連絡所

小諸連絡所と合同で、「ホールこだま」にてコンペを開催。木造ならではの自然な残響音は、参加者、審査員の先生方に大変好評。



池田 圭一
0268-42-3436

岐阜連絡所

しっかりした指導者育成、教室運営をめざし新たな気持ちで講座、イベント企画を計り、ピティナ普及に努めたいと思っております。



大塚 信
058-232-8931

中東遠掛川連絡所

音楽に磨きのかかりつつあるこの地域を、ただ競い合うことのない良質な音楽活動を目指すために努力したいと思っております。



松浦 忠美
0537-23-0245

名古屋西連絡所

まなびピアノの開催から6年。連絡所を取り巻く環境は変わりつつありますが、着実な結果を出してまいりたいと思っております。



水村 浩一
052-889-5880

三河連絡所

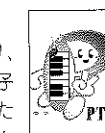
20名の所属会員のうち11名が正会員という豪華なスタッフ。今後も、ピティナに大きな夢を与えるために、頑張ってます。



杉浦 日出夫
0566-21-2587

長浜連絡所

びわ湖の東岸、長浜より、今後も大勢のピティナっ子たちに夢を与えてまいりたいと思っております。皆様のお力添えをお願いします。



池田 洋
0749-63-7311

舞鶴支部

優秀指導者、入賞者は支部、地域文化向上に貢献。真の指導者育成の学びを大切に、幅広い年代層と感動を共有できる方大歓迎。



楠田 昌子
0773-63-3397

静岡支部

参加者・会員の拡大に向けて、楽器店が運営する支部のメリットを活かしながら頑張ってます。どうぞご支援下さい。



大石 敦生
054-282-3911

伊東連絡所

2001年より東静岡支部(仮名)として沼津市内沢楽器に引きつがれます。21世紀で大きな発展を心より祈っております。



梅本 光子
0557-45-2635

豊橋支部

コンペ地区予選、本選、ステップ年2回、課題曲説明会、講座、コンサート等多忙な日々です。皆様のご支援、お願い申し上げます。



石田 トオル
0532-54-5555

津連絡所

指導者主体の小さなグループです。2000年はまなびピアノを担当します。三重ならではの郷土芸能を披露したいと計画中です。



山田 つづみ
059-228-3214

びわこ南連絡所

9月に発足したばかりの連絡所です。まずは2000年6月24日のコンペの成功を目指します。ご協力をお願いいたします。



川上 彰都
077-563-2507

宇治連絡所

すばらしい子供が、当連絡所から全国大会を目指して入賞できるように皆で頑張ります。



加藤 正治
0774-31-8484

大津連絡所

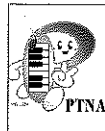
より良い指導のあり方の研究や発表の場の提供をしていきたいと思っております。所属会員の先生方も生き生きと活動頂いております。



岡本 敏幸
077-545-5385

大阪支部

当支部において第15回ヤングコンサート開催するに当り、出演者の皆様が音楽、ピアノを永く楽しんで頂くことを期待しております。



中島 邦彦
06-6271-7846

千里支部

ピオトル・パレチニ、リー・カムシン等、世界の著名教授をお招きして、レッスンを実施。今年も一層内容の充実を計ります。



奥山 功
06-6831-6824

堺支部

連絡所、支部と3年目をむかえますが、只今ピティナ会員募集中です。又新たにピアノステップを今秋より開催する予定です。



山崎 圭子
0722-22-0400

高槻連絡所

今年は、コンペティションに限らないピティナをいかに展開させていくか、きっかけ作りができれば願っております。



武島 俊浩
0726-81-5851

東大阪連絡所

「音楽は世界の共通語」をモットーに「ステップの実施」も視野に入れ、地域の皆様とより密着出来ますよう、つとめて参ります。



村田 陽子
06-6783-1461

宝塚支部

会員同志が仲良く、活発な活動を続けています。2000年には、初めての試みとして「大人のためにピアノ教室」を開く予定です。



稲垣 千賀子
0727-94-1553

大阪中央支部

2月にはステップを3日間で実施。またトークコンサートを通じて、音楽の楽しさを感じレッスンの継続向上につなげて欲しいです。



片岡 雅美
06-6252-1820

姫路支部

支部を担当して約20年になります。古くからのピティナを知る立場から、今後も地道に進めてまいりたいと思います。



井上 久栄
0792-22-4169

神戸中央支部

早やまなびピアノが過ぎて3年目。本部、会員各位のご協力を得ながらお客様の信頼と拡大を計り、発展してゆく所存です。



近藤 一利
078-391-7654

豊岡連絡所

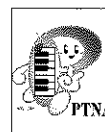
全国規模のピアノコンクールをとの強い思いでPTNAと出会って11年目。今後も更なる発展に努力してまいりたいと思います。



小島 早苗
0796-23-0030

赤穂連絡所

この全国レベルのコンペティションがピアノ教育に携わる先生方への刺激となり、よりよい指導につながることを望みます。



田原 邦和
0791-43-9361

和歌山支部

コンペでは、毎年100名以上の参加者を維持しています。和歌山県でただ一つの拠点として、これからも頑張ってもらいます。



玉川 幸司
0734-26-2341

明石連絡所

楽器店として教室・発表会等で音楽の普及に努め、各種イベントで先生方、生徒の方々の音楽技術向上のお役に立っています。



古津 俊明
078-913-0130

奈良支部

2000年度より新たにステップを開催、コンペを本年度より奈良近鉄百貨店内(秋篠音楽堂)にて開催させていただきます。



沼田 敬
0742-33-6912

岡山支部

当支部では、コンペティションはもとより、ステップやトークコンサートの実施に向けて、皆様のご意見を募集しています。



三宅 良典
086-232-9374

鳥取県連絡所

「ピアノの好きなみんなのために…」と産声をあげて2年目。「ピティナと出会えてよかった」と喜んでいただけそうな会にしたい。



新田 恵理子
0858-22-5103

島根西部支部

島根西部支部は今年2000年で15年目。人口が少ない地区ですが、たくさんの方々にお力添え協力頂き皆で頑張っています。



桑野 悦男
0855-23-3943

広島北連絡所

広島市北部に位置します。山陽道・中国自動車道、広島北インターから近いコンサートホールでのコンペ参加が出来ます。



横山 茂美
082-815-2556

津山連絡所

インターネットも盛んな現在、多くの先生方がコンピューターを介して情報交換することで、より楽しい世界の展開を図りたい。



安藤 欣之
0869-27-2100

広島支部

広島地区で最初にピティナに取り組みました。初心にかえり更なる発展のための努力とミレニアムコンサートを開催したいです。



古川 正昭
082-261-1137

福山支部

所属会員は約20名。様々なイベントを通じて音楽と共に心豊かな世界が広がる様願っております。



羽原 久美子
0849-23-6150

広島中央連絡所

1999年は初めてのコンペ。2000年度は地区予選会を2日で行います。指導会員の先生方と力を合わせて参加者数を上げていきます。



原田 和豊
082-244-3666

香川支部

PTNAの創設と共に活動を開始した支部です。少人数ですが、アットホームなふんいきで各イベントにのぞんでいます。



龍崎 和子
087-822-3068

福岡支部

教室運営に関する様々な事例を参考に、効果的な生徒募集法、発表会の企画等を、多くの指導者の方々に提供させて頂いております。



寺島 敦
092-843-0007

佐賀支部

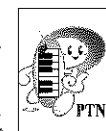
15名程のスタッフで運営しています。コンペティションでは役割を決め、事前に何度も話しあい、準備をしています。



高崎 由紀
0952-31-2200

佐世保連絡所

一つ一つの企画が実施できるよう会員一同取り組み、佐世保の音楽人口の啓蒙とレベルの高さを示すことができる2000年を望みます。



関 記久夫
0956-58-3299

大分支部

月に1~2回例会をもち、会員相互の研修、親睦をはかったり、催物の企画・準備をする会議を行っています。



石川 友子
097-533-1127

川内連絡所

少人数の会員で運営しています。音楽に対しての関心度を高め、少しでも多くの方々に楽しさを知っていただく活動しています。



田代 美香
0996-22-0805

山口支部

県内は広範囲ですが、ピティナの名前も浸透してきましたので地道に前向きに頑張っていきたいと思っています。



山根 祐子
0838-25-2787

愛媛県支部

設立12年を迎える支部の事務局を担当して3年目に入ります。元気な会員の先生方にひっぱられながら楽しく頑張ってます。



目見田 則幸
089-941-1277

北九州支部

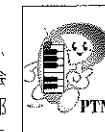
底辺活動の支部は派閥をこえた環境作りが必要。審査員を含むすべての会員が思考、発言があってピティナの発展に寄与する。



神崎 曜
093-561-4007

佐賀北連絡所

地区予選を運営しながら、2年に1度、課題曲講習会及び、個人レッスンを本部の協力を得て、行っています。



石戸 敏章
0952-29-1678

熊本支部

所属会員35名皆様からの日頃のお力添えにお応えするためにますますのやり甲斐を感じています。まずは4月9日に初ステップを!



八島 徹
096-365-4131

宮崎支部

月一回の定例会、勉強会、会報、コンペに実年音楽教室、日向ステーションでのステップ等、とても意欲的に取り組み活動している。



漆原 好美
0985-24-4141

沖縄支部

南の太陽のように明るい当支部では月に一度実行委員会を持ち今後の計画等話し合っています。初ステップや初YPを予定。



糸数 ひとみ
098-854-1313

徳島支部

私達は、常に新しい行事に取り組んでいます。記念すべきミレニアムは、「会員の一致協力」の強化を目標として、頑張ってます。



安田 久美子
088-625-1534

高知県支部

コンペ参加人数も250名が定着。坂本龍馬を生んだ高知が、音楽でも遅れをとらず、発展してゆく様、会員一同がんばっています。



山内 あり
088-831-7671

田川支部

英彦山麓の添田町オークホールがホームグラウンド。スタインウェイピアノと音響は200名余のコンペティターにはとても魅力的。



乗永 昌子
0947-82-0550

長崎支部

年に2回ほどの役員会を通して、会員間の親睦、いろいろな情報交換と共に、コンペ運営をスムーズに行えるよう話し合っています。



太田 三津子
095-821-2326

熊本南支部

今後ステップを行い、できれば地区予選通過者によるコンサートなども計画。これからも活動に様々な工夫をしていきたい。



守田 正年
0964-22-3156

鹿児島支部

来年2000年は、15年目に入ります。鹿児島にピティナは、すっかり定着しました。所属会員は70名になりました。



市来 貴子
099-253-5399

石垣連絡所

年末のステップが恒例行事として定着しつつあります。これからも、最南端のピティナにご声援をお願いいたします。



松川 ちより
09808-3-9770

IV

ピティナネットワーク*国内編

支部活動を通してネットワークを拡大

99年12月に初めてのピティナ・ピアノステップを開催するなど、ここ1、2年大きなリフレッシュが見られる川越支部。また楽器店を中心に運営してきた名古屋支部は「文化事業部」として地元指導者と協力する体制へ。地域指導者との密着度の強い支部。その活用法を探ります。



川越支部

丸子 あかね先生(左)
藤井 祥子先生(右)

川越支部転換のきっかけ

自らがピティナっこの丸子あかね先生は、大学生のころから恩師真継豊子先生を手伝い、川越支部運営に携わっていました。

2年前に初めて参加した全国支部連絡会で、他支部の活発な活動を目のあたりにし、焦りを感じたといいます。「世の中は動いているんだ。川越支部もこのままではいけない」と。

99年2月に出産、体を癒す暇もなく4月に川越支部主催の入賞者記念コンサートを開催。手書きで案内状を作成し所属会員の先生方へ送ったのは、開催1週間前

のことでした。

「聴きに行ってみるとコンサートの会場では丸子先生一人が走り回っているという状態。これは支部の人手が足りていないのではと感じました」と藤井先生は振り返ります。

入賞者記念コンサート終了後、丸子先生はきてくださった先生方全員に電話をかけました。「当日は、ありがとうの一言もいえないくらいでしたから、とりあえずお礼をと。しかしその後、藤井先生の方からお電話をいただき、それが今のつながりのきっかけとなったのです。」

一人一人が責任をもって運営に携わる

イベントでは家族、知り合いを総動員するほどの忙しさ、しかも先生自身の体も万全ではない状態という中で、なぜその時期だったのでしょうか。「藤井先生に会ったからでしょうね。チャンスをつかんでしまったからには逃すわけにはいかないと思ったのです。」コンペだけなら、アルバイトを雇えばなんとか乗り切れてきました。しかし、「他のこともしたかった」という丸子先生の想いが自分を奮い起こし、そして藤井先生と引き合わせたのでしょう。

「丸子先生が動けなくても、そのとき動ける先生が動けばいい。また私が動けなくなったときには、丸子先生達が動いてくれる、そういうお互いに助け合える支部がベストなのでは」と藤井先生は考えます。

今、川越支部の中での丸子先生の役割は最終決定のみへと移行しつつあり、他の先生へ活動の分担をはかります。ステップに導入した託児サービスもその一例。丸子先生としては、自分も親の身として子どもに危険のないように、よく預けている先生にも助言頂くようアドバイスをするとどめ、手続きなどは担当の先生に任せました。

「今までコンペでは自分の地区に生徒をだせなかった。生徒が演奏していたら、気になって仕事に手が着かなかったのです。しかし今は、先日行われたステップでも、他の先生に任せて自分の生徒の演奏を聴くことができるようになりました。またもし自分が支部運営に携わっていなかったら、生徒がステップに出たがっているということにも気づけなかったかもしれない。というのも、実は藤井先生からステップについてもちかけられたときも、『いいんじゃない?や

ろうよ。でも悪いけどうちの生徒はでないかもしれないよ』といていたのです。でもなんと、自分の生徒が一番多かった!」

「失敗してもまたやりなおせる」を合い言葉に

「失敗してもいいじゃない、まだやりなおせる」この言葉が藤井先生と丸子先生の合い言葉。「ピアノの先生のしゅんは40、50

歳と聞きます。それを考えると、私たちはまだ10年も好きなことができると思えたのです。」真継先生も最近の川越支部の活動を傍らで見守って下さりながら「あなたたちがここまでやってきたから、川越も活発になってきたわね」と励まして下さいます。「あとでふりかえっていいと思えば、何も後悔はしません。川越支部の車輪はいま、動き出

したってところですか」という丸子先生の顔は輝いていました。



川越ステップ後の茶話会の様子。支部の活動に賛同いただく先生も増えてきました。



名古屋支部「文化事業部」

服部 浩美先生 石黒 加須美先生 飯田 桂子先生
大林 裕子先生 渡辺 泉先生、道法 義一氏(後列左より)
武田 宏子先生(前列左)

写真: 98年度あしながおじさんコンサートを終えて前列右側は、出演者の碓井俊樹君

楽器店中心の運営から指導者の意見を取りいれられる体制へ

コンペティション一辺倒のスタンスで、地元の会員は現場に立ち会わず楽器店を中心としたスタイルで運営されてきた名古屋支部が変化をみせたのは、1998年のことでした。「地元出身のピティナっこたちをどう育成したらいいか」このことを常に念頭におき、活動してきた道法氏。「その結果企画されたのが

『あしながおじさんコンサート』なのです。しかし出演者の選定等で、指導者の意見を反映させる必要が出てきました。そこで主旨を賛同する先生方による『文化事業部』が誕生したのです。」

ピアノ指導者の立場から参加する意義を感じて

「文化事業部」は現在、道法氏及び、6名のピアノ指導者により構成されています。その中のお一人である石黒先生は、道法さ

んの「指導者の意見を聞く」という姿勢に共感し、指導者の視点からピティナの活用法を提案できればと参加しました。

所属会員参加型の支部運営の強化

一部の賛同者によって支えられてきたこの1年ほどの活動を更に充実させるために、地元指導者とのコミュニケーションの機会として総会を開催し、所属会員に向けて文化事業部のあり方を問う機会を作るとというのが、今後に向けての第一歩です。

「現在名古屋支部には80名ほどの所属会員がいますが、その全員が何らかのかたちで支部と関わりを持つのが理想です。たくさんの方の考えがあって、たくさんの事業部が存在しても構わないと思います。」と、石黒先生。

「子供(生徒)に対して何をすべきかの部分は、入賞者記念コンサートやあしながおじさんコンサートによって充実してきました。これからの課題は、会員・指導者に対して何ができるか。その意味でも会員の横のネットワークを強化させ、会員から支部へ提案する機会を増やしていきたい。」道法氏の支部充実化構想はまだまだ続きます。



今井 顕先生

国際委員会委員長

国際委員会では、より国際的な視野からピアノ音楽教育を見つめられるよう、会友（各国の著名な音楽家 約70名）や海外在住の会員、及び当委員会協力委員との連携をはかり、ネットワークを広げています。今回は、褒賞演奏会ツアー、コンクール派遣で大変ご協力いただき、海外ならではのネットワークをお持ちの先生方の事例をご紹介します。

● ピティナ会員ネットワーク * 海外編

世界に広がる 海外在住会員ネットワーク

フランス音楽を通じて指導者ネットを



宇宿規子先生

(フランス在住歴15年)

「渡仏してまもなく町の音楽学校の発表会の折、まだ指の独立も出来ていない子供が、甘く優美にシューマンの小品を奏でるのを目の当たりにした時は自分の耳を疑ってしまいました。その後、発表会（仏ではオーディション）の度に足を運びました

が、いつも温かい雰囲気の中でとても心地良く演奏を聴く事が出来ました。」宇宿規子先生はこの頃から生徒にまず音楽の喜びを感じさせる事を重点に置き指導するようになったとおっしゃいます。

それでは指導者同士の関わりからは、どのような影響があったのでしょうか。様々なピアニスト及び指導者と知り合った中で、最も感化されたのはジャック・ルヴィエ先生とジョン・マリー・コテ先生でした。

「両先生も常に、『バランスの良い勉強』を強調し、生徒自身

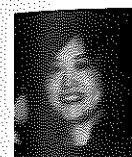
の音楽に対する強い欲求に対してレッスンをおこないます。生徒の良い所は大切に、音楽的に規則違反している箇所を指摘し、説明しながらレッスンを進めますので、当然各自の個性を

尊重された自分の音楽が出来上がる訳です。」

こうした出会いを通じて、音楽性の育み方や音楽への接し方を再発見し、音楽を通して生徒をどのように成長させてあげれ

ば良いかを第一に考えるようになったという宇宿先生。今後とも指導者との関わりを増やし自身も前進していきたいとのこと。そのネットワークはさらに広がり続けることでしょう。

アイデンティティを求める ドイツ文化



樋口紀美子先生

(ドイツ在住歴25年)

同じヨーロッパ圏内でもドイツはやや様子が異なります。こちらはネットワークというよりも徹底した個人主義を貫いているようです。ベルリン在住の演奏家であり、指導者でもある樋口紀美子先生は、ドイツの指導者同士の関係を次のように分析します。「特にピアノ教授法等、

各々が独自の方法の確立を目指して、苦心惨憺し築き上げる為、パターン化した物はほとんどドイツには存在しません。個々に信じる指導法に基づいて、音楽性重視で指導しているのが現状で、互いの指導法に関して感化しあうということは少ないのです。」

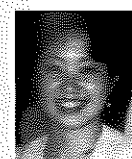
樋口先生は現在、現地の音楽学校で指導されている傍ら、ご自宅を開放してサロンコンサートを催したり、またご自身も演奏家としてベルリンで名を馳せたりと、多面的に活躍されています。個人同士がお互いに認め合い、紹介しあってネットワークが広がっていく、そのような



拡大の仕方があることも伺えます。画一的でない教育、個性的な指導、そして性格の異なる演奏、他人と違うところから始まる個性の確立も、日本では得られない文化環境でしょう。仮に大きな組織に所属していても、その中で自分だけの個性を知る、これも自己研鑽の一つだと言えるそうです。

独スタインウェイ国際コンクールでは、現地で大変な努力をいたした。

アメリカ時代の学友ネット が自らの世界を広げる元に



矢野恵子先生

(アメリカ在住歴7年半)

大西洋を越えるとそこはアメリカ。自由と自立の国では、どのような指導者同士の交流がなされているのでしょうか。矢野恵子先生は数年前までアメリカに留学、そこで将来指導者として活躍するであろう級友に、多く恵まれました。

「学生時代のクラスメートが一番のネットワーク。多くの人が

すでに博士号をとり、アメリカ各地で教鞭を執ったり、演奏家として仕事を持ったりして活躍しています。またクラスには外国人の生徒もいましたので、そこから全米だけでなく、世界にその輪が広がっています。先日東京にてプレオーディションが開催されたジュー・バックアウワー国際コンクールでボライ先生のお手伝いをしていたこともネットの広がりによって拍車をかけた気がします。」

帰国後は、公開レッスンの通訳等の仕事を通じて、来日アーティストと知り合ったり、音楽に限らず様々な分野に興味を持って自ら世界を広げる努力をしているといいます。

幅広いネットワークをお持ちの矢野先生ですが、その動機となっているのは、いろんな考え方や文化に接して自分自身の人生や生き方の幅を広げたいという欲求からなのだろうか。

「ずっとピアノ室にこもって練習したり、子供たちを同じ部屋で教えていたりするだけでなく、毎日メール等で知人とやりとりをする中で新しい情報や見方を取り入れ、常に新鮮で活力のある指導法につなげたいと思っています。」良い教材の情報、指導に関するアイディア、専攻楽器の違う友人、異なる観点からのアドバイスは「宝物」と、存分にそのメリットを生かしているのではないのでしょうか。

EPTA (ヨーロッパピアノ指導者協会)

1978年カローラ・グリーンティア女史により創立。チェルニー、師匠のベートーヴェン、弟子のリスト、それぞれピアノ教育及び演奏レベルの向上に寄与した功績を讃えて設立された。ヨーロッパ各国に拠点があり、著名ピアニストや指導者が局長となっている。特に活動の活発なEPTAイギリスでは毎年国際会議を開催しており、前回はリサイタル・マスタークラス・スペイン・アメリカ音楽研究・ショスタコビッチ研究、ロック、指導法、ピアノデュオ、トリオ各研究等が組まれた。2000年はブダペストにて全EPTA会議が開催予定。

MTNA (全米音楽指導者協会)

1876年セオドール・ブレッサー氏により創立された非営利団体で、現在2万4千人の音楽指導者が所属している。毎年MTNAコンクールが全米規模で行われており(中学生・高校生・大学生以上の3部門)、全楽器が対象となっている。また年一回コンベンションを開催、昨年は「学習・共有・ネットワーク」をキーワードに、実用性(指導者同士のパネルディスカッションや各研究)と娯楽性(コンサート等)を兼ねあわせた華やかなイベントがロスで開催された。2000年3月にはミネソタ州に全米各地より指導者が参集する予定。また各州に支部があり、地域毎のコンベンションやコンクール等も開催されている。

コラム

●ピティナ会員ネットワーク活用例

年代・地域を超えたネット
「バスティンツアー」メソッド・教本の考案
者に直接指導を受ける
ことができる

「どうしてこの指使いがいいの
だろうか?」「この曲は生徒にと
ってどんな効果が得られるのだ
ろうか?」実際に指導をしてい
く過程で、このような疑問を感
じたことはないでしょうか? 「バスティン・ツアー」ではメ
ソッドや教材を考案した理念を、
ジェーン・バスティン先生のレ
ッスンをとおして、直接みるこ
とができます。「百聞は一見にし
かず」とのことわざもあるとお

り、アンケートでも「メソッ
ドや教材についての知識を深め
ることができた」という感想が
目立ちました。

その土地の文化に触れる
ことができる

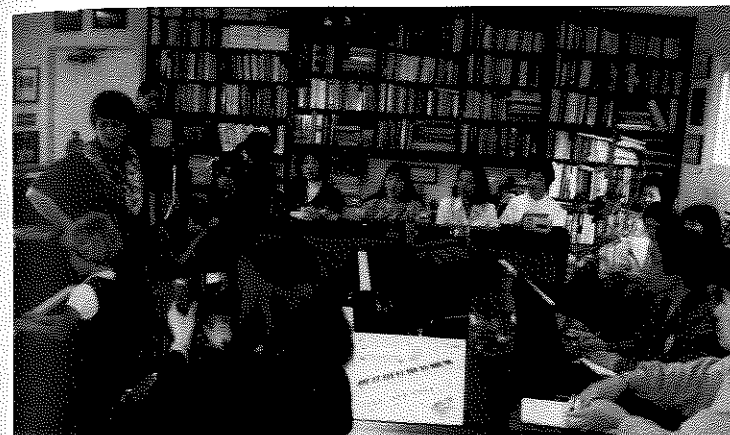
「作曲家の生まれた環境・育っ
た文化をからだ全体で感じる機
会が与えられることに意義があ
ったと思う」と多くの留学生か
ら聞きます。ツアーは、こうし
た海外生活の利点を短期間で味
わうことができる絶好のチャン
スです。

バスティン・ツアーの参加者

からも「アメリカのごく普通の
生徒のレッスンが見る機会が沢
山あったことは、大変よかった
と思う。(98 加藤知加子)」「実
際にホームに来てみないと実感
できない、気づかなかったこと
が体感できたことに嬉しく思っ
た。(99 黒木和子)」という感
想が得られました。

同じ目的意識をもつ指導
者との交流

「全国の先生方との出会い、交
流はとても有意義。これをきつ
かけに日本の他の先生方との交
流が広がればと願っている。(99



97年度 バスティン・ツアーにて。真剣な表情の参加者のみなさん。

山崎万里子)」というように指導
者の交流がはかれるというのも
ツアーの魅力です。

池川礼子先生はこのバスティ
ン・ツアーの他、モスクワ演奏
会ツアーなど、多くのツアーに
参加されていていらっしゃいます。
「日本中から集まった『指導力を
高めたい』という同じ目的をも
った先生方との心の輪のような
ものが、たった数日の間ででき
るということがとても感動的な
のです。またツアーで出会った
方と一生の友達となれたという
ことは、何よりも魅力で、大き
な収穫なのではないでしょう

か。」とツアーの良さについて語
って下さいました。

バスティン先生の人柄に
も感銘

そして、やは
り感動を受ける
のは、バス
ティン先生本
人の人柄でし
た。「バスティ
ンメソッドの
すばらしさは
、やはり先
生の人間性か
らくるものだ



ツアーでは、他の先生方との交流がはかれることも魅力です。

2000年度ピティナ海外演奏ツアー予定

●コンサート出演有リ
○コンクール見学等

○ルービンシュタイン記念若
いピアニストのための国際コン
クール見学ツアー

期間：4月11日～19日 全9日間
訪問地：ピドゴシチ(ポーランド西部)

旅行代金：27万円前後

*前回(1997年)は山辺絵里さんが第5
位入賞した、ハイレベルなヤングピ
アニストのための国際コンクール。下田幸
二、マッティ・ラエカッリョ(99年度
コンペティション海外招聘審査員)ら
が審査員に。

●Jr.ジーナバックアウワー国際
コンクール見学ツアー

期間：6月12～23日 全12日間

訪問地：ユタ州ソルトレイク・シティ
(アメリカ)
東京プレオーディションより出場権を
得た6名が同コンクール参加。その見
学・応援及びエキシビションコンサー

杉本安子先生に聞くショパンツアーの聴き所



五年毎に開催されるショパン国際コン
クール。その期間中、私達は世界中から
集るトップクラスの若者達の弾く様々な
ショパンに出会えます。その国民性から

運営委員 演奏研究委員長 検定・指導者育成委員

醸しされるショパン像は大変素敵で興味
深いものです。2週間の間、ワルシャワ
の黄金のショパンの音楽に浸っていただ
けるのは、至福の一時といえましょう。

トへの出演ツアーで、指導者の為にジ
ュリアード・イーストマン両音楽院見
学も予定。

●ミュンヘン演奏ツアー

期間：9月中～下旬
訪問地：ミュンヘン(ドイツ)

○ショパン国際コンクール見学
ツアー

期間：10月5日～20日(全4コース)
訪問地：ワルシャワ(ポーランド)
コース紹介：1)第1次予選途中～第3
次予選全14日間 458000円
2)本選～ガラコンサート全7日間
458000円
3)第1次予選～ガラコンサ
ート全19日間
598000円
同ツアー中、ショパン生
家訪問や市内観光、ワル
シャワ音楽院見学(予定)
等、オプショナルツアー



左) 99年11月に行われたジャパンウィークツアーにて。

と確信した。(98 汐巻公子)
「指導者は音楽を通して生徒の大
切な心を育てる助けをしている
と改めて感じさせられた。(99
梶原真澄)」 「バスティン先生
の人を人として成長させていく手
助けを、という姿に心打たれた
(99 福本幸子)」 「バスティン先
生のレッスンから、生徒を広い
心で受け入れていらっしゃる姿
に感動した(99 笠井礼子)」

※ () 内の数字は参加年度。敬称は略さ
せていただきました。

※ 「バスティン・ツアー」は毎年5月頃
に行われます。詳細は(株)東音企画(03-
3944-1581)までお問い合わせ下さい。

も盛り沢山。(代金はチケット込み会
員価格)

●ジャパン・ウィーク参加 秋の
オランダ演奏ツアー

期間：10月下旬 全8日間
訪問地：ライデン(オランダ)
*昨年11月好評を博したジャパン・ウ
ィーク参加 フランス演奏ツアー(左
写真)。
今年は日蘭国交樹立400周年を記念し
てオランダにて開催、コンサート
に出演予定。
**その他3月、4月、7月開催予定の「バッハ生
誕250周年記念ツアー」のご案内もしてありま
す。詳細はピティナ本部事務局営業まで。